

モロヘイヤへ新たに農薬を適用拡大する

— 作物残留試験の計画と実施 —

生産環境部門 中西 充

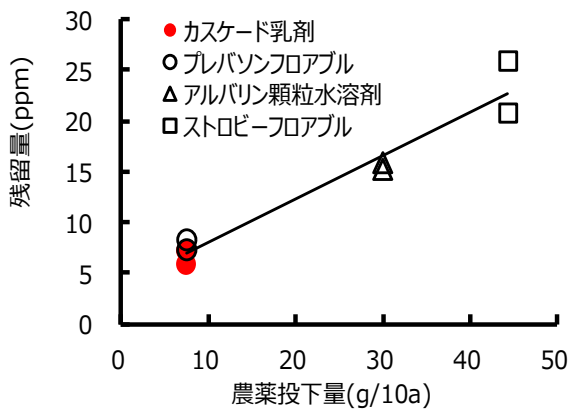
はじめに

モロヘイヤへ新たに農薬を適用拡大するためには、まず、残留農薬基準値を超過しないような農薬を選ぶことが重要です。

結果

処理1日後の残留量を予想

これまでの試験結果から、農薬の投下量と残留量に下図の関係が得られました。



農薬投下量と残留量の関係

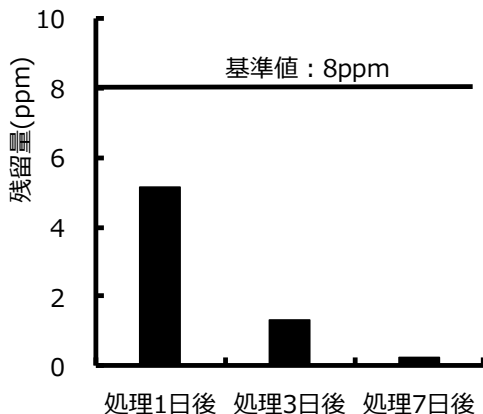
収穫1~3日前に使用可能と予想される農薬を選定

左のグラフから、基準値を超過する可能性の低い農薬を選定しました。

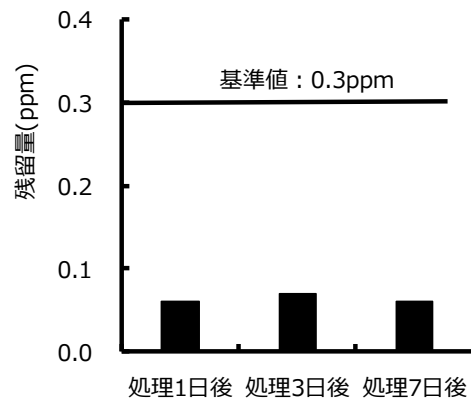
商品名	基準値(ppm)
アニキ乳剤	5
アフエットフロアブル	30
カンタスドライフロアブル	40
セイビアー20フロアブル	60
ゾーベックエニケード	15
ディアナSC	8
パレード20フロアブル	10
ファルコンフロアブル	30
ランマンフロアブル	10
レーバフロアブル	25
ムダンフロアブル	10

作物残留試験の実施

ディアナSCとバスタ液剤を選定し、作物残留試験を実施しました。



ディアナSCの結果



バスタ液剤の結果

おわりに

使用前には、必ず、農薬ラベルを確認し、使用記録の記帳を行ってください。

○適用農作物を確認してください。○使用量・希釈倍率を確認してください。

○使用時期を確認してください。○使用回数を確認してください。